

会 議 録

会議の名称	令和8年度第1回 飯塚市中小企業振興円卓会議
開催日時	令和8年5月25日（月）18時00分～19時00分
開催場所	飯塚市役所5階 研修室
出席委員	河委員長、鶴田副委員長、荒木委員、田中委員、小野本委員、林田委員、伊藤委員、野上委員、高田委員、岡松委員、花田委員、松尾委員
欠席委員	澁田委員、入江委員、野村委員
オブザーバー	平川オブザーバー
事務局職員	<p>【経済部】林部長【産学振興課】中村課長、長谷川課長補佐、木村主査、岩城係長、野見山係長、樺</p> <p>【企業誘致推進課】瓜生課長【商工観光課】原野課長、藤井係長</p> <p>【国際政策課】深江課長【農林振興課】古江課長</p>
会議内容	<p>1 開会 経済部長あいさつ</p> <p>2 議題 (1) 第2期飯塚市産業振興ビジョン2023～2027数値目標の達成状況について 事務局による資料説明後、委員からの質問・意見を聴取。</p> <p>【主な質問・意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 法人市民税（法人税割）納付額について注釈に実績値の確定は6月中旬以降とあるがなぜか。 ⇒（事務局）市の決算が締まる時期が5月末となり、最終的な確定がその後の6月中旬以降となるためである。 ● 地域経済循環率が昨年度資料85.2%から79.5%へ低下しているが、この点についてどのように分析しているか。 ⇒（事務局）「地域経済循環率」は、生産（付加価値額）を分配（所得）で除した数値になり、地域経済の自立度を示すものになる。数値が高いほど他の地域から流入する所得に対する依存度が低いことを示している。 昨年度の数値から低下していることは他の地域から流入する所得に対する依存度が高く、地域外への流出が増加している状態となっているため、その点を改善する施策を検討し、実施していく必要があると考えている。 <p>(2) 部会実施報告とそれを踏まえた意見交換</p>

部会長による実施報告と事務局による追加資料説明後、委員からの質問・意見を聴取。

【主な質問・意見】

■起業家育成事業について（戦略3 運営部会）

- 2025年度（令和7年度）から青年会議所主催の事業に切り替わったことから実績指標が未記入となっているが、主催ではなくなったが連携して取り組んでいるのであれば数値を入力してもいいのではないか。

⇒（事務局）今後、実施主体の修正と実績値の入力を行い、事業の進捗管理を行っていくこととする。

■海外販路開拓事業について（戦略2 運営部会）

- 2025年度（令和7年度）実施のAPUにおける食品試食会に出展された事業者は、すでに海外展開している事業者が多かったのか、それともこれから海外展開を検討していく事業者が多かったのか。

⇒（事務局）既に海外展開している事業者、これから検討していく事業者それぞれが出展された。

- Jグランツの掲載についてホームページを覗いてみたがたどり着くことが出来なかった。他の事業（障がい者関連）についても同様。

⇒（事務局）Jグランツだけに限らず、産業振興ビジョン2023～2027で展開している様々な事業があるので容易に情報を入手できるように整理し、整備していきたい。

■工業団地整備事業について（戦略3 運営部会）

- 部会長からの報告の中で、懸念事項として物価高騰による設計費用や造成費用の増加や先行売買企業との開発協議が難航していると記載があるとあったが個別事業シートを見るとそのような記載は無いようだが。

⇒（事務局）運営部会に提出した資料では記載があったが、整合性の取れない記載となっていたため修正する旨を運営部会で報告し、円卓会議の資料として修正したものを提出したため、記載がなくなっている。

■インキュベーション施設の活用促進について（戦略3 運営部会）

- トライバレーセンターに新規入居が2件あったとの記載があるが、どのような事業所なのか。また、トライバレーセンターの入居者に際して条件等があれば説明いただきたい。

⇒（事務局）新規入居の2件については、ともに九工大生になる。1件は本年の1月に会社を登記して事業を展開している。もう1件は市が主催するスマートアプリコンテストのグランプリ受賞チー

	<p>ムで創業しているわけではないが、創業を視野に入れて活動している。</p> <p>トライバレーセンターの入居者の条件等については以下の3点となる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一定以上の技術力を有し、新たに創業しようとする者又は利用開始の時点で創業後5年を経過していない者 ・研究開発型企业で市内の大学と共同研究開発を目指す者 ・研究開発部門等を持つ企業で新分野進出を目指す者 <p>■周遊商業エリア連携事業について（戦略2 運営部会）</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 周遊商業エリア連携事業は評判の良い事業だが、2026年度（令和8年度）中に翌年度の運行について検討していくとの記載があるが、継続可否の条件等があるか。 <p>⇒（事務局）検討する際の数値として乗車率50%以上がある。しかしながら、検討する際の一つであり、他の内容も鑑みながら検討していくこととしており、現時点では何も決定したものはない。</p> <p>■地元ブランド化推進事業について（戦略2 運営部会）</p> <ul style="list-style-type: none"> ● いいつかブランドに認定されたものでも販売に苦戦しているものもあると耳にするが、その辺りについてどのようなフォローアップを行っているか。 <p>⇒（事務局）本庁舎前でいいつかブランド認定商品を集めたマルシェを開催したり、出来る範囲にはなるが個別相談に応じながら支援を行っている。</p> <p>■その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 会議開催にあたっては毎回紙の資料を準備いただいている。準備する際の事務負担の軽減や会議のDX化を図ってはどうか。 <p>⇒（事務局）今後は委員やオブザーバーにPCを持参いただいたり、持参が難しい場合は市で準備するなどして、会議のDX化を図っていきたいと思う。</p>
<p>会議資料</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 飯塚市中小企業振興円卓会議委員 委員名簿 2. 配席表 3. 第2期数値目標の達成状況について 4. 事業一覧表、全個別事業シート 5. 令和4年度採択 地域雇用活性化推進事業成果 6. 障害者雇用関連資料 7. 令和7年度よろず支援拠点相談内容内訳 8. いいつかブランド認定商品一覧表

公開・非公開 の別	1 公開 (傍聴者 0人) 2 一部公開 3 非公開
その他	